



雨の季節。すべての木々は新鮮で生き生きしています。ポーポキは優しい雨が好きです。でも、ずぶ濡れになるような雨が嫌いです。あなたは？

Popoki's Hot News!



COMING SOON!



8月6日に広島・長崎の原爆を考え、Remembering Hiroshima Imagining Peaceの活動家（アメリカ・ピッツバーグ市）と核・原子力問題について一緒に語り合いませんか？詳しくは、11ページをご参照ください。



ポーポキのピース・ブック 3 や「ポーポキ友情物語 ～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」！

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、神戸YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手できます。ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのアンナにゃんから届いた平和。

「私にとっての平和とは、偏見がなく、疎外されることがないような世界を意味します。出生や性別、肌の色に関わらず、誰もが夢を追い求めることができるシンプルな世界です。

でも、そんなことは可能でしょうか？」



あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。
ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

NEW! 瀬チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>

奈良県畿央大学看護学部でのポーポキ・ワークショップ (2015.5.23)

きよにゃん

はじめましての方は、はじめまして。僕の事、名前を知ってくださっている方は、こんにちは。僕は、清原なので、きよにゃんです。今年の四月？五月？からポー会に参加させて頂きました。よろしくお願いします。

少しだけ、自己紹介させて頂きます。僕は、姫路よりもまだ西側になる地域、たつのという所に住んでいます。醤油やそうめんが有名な地域です。有名人は、赤とんぼでお馴染みの三木露風さんがいます。どうぞ、よろしくお願いします。

そんな僕が、ポー会として参加するのは3回目の事でした。屋外での活動は始めてでした。なので、とても緊張していました。僕が、奈良県に行くのは、小学生の時にいった修学旅行、家族旅行。計:2回。今回で3回目だったので、何だか小旅行みたいな気持ちで行きました。

畿央大学へは、電車と徒歩で向かいました。神戸三ノ宮からは、約1時間ほどでした。中々歩いたのが疲れました。大学では、約80名ほどの看護学部の学生さん達がおられました。年が近い事から、どの様に接したら良いのか、迷った所もありました。ですが、ろにゃん先生、さとにゃん先生や他の方々にサポートして頂き、無事やり遂げる事が出来ました。



内容としては、初めに、ろにゃん先生がポーポキとはなにかをザッと説明された所から始まりました。そこから、絵本の読み聞かせやポガをしたりしました。約三時間のワークショップの最後は、学生さん達に、自分たちの思う平和を絵にしてみようと云う題材を此方から与えて、幾つもの班に分かれて、描いて貰いました。時間は、15分程度でした。時間が短い中、様々な絵が完成しました。完成した絵を、各班代表の人に説明をしてもらいました。その中で気づいたのは、皆の

思い描く平和は、細部は異なっているけれど思いは、一緒なんだと改めて感じました。

今回の活動は、自分にとっても、充実したものでした。此れからも、ポー会として活動させてもらおうと思います。その時々で、今回の活動を通して得られた思いを忘れずに参加して行きたいなと思いました。今回は、参加させて頂いてありがとうございました。



灘チャレンジのご報告

まいかにゃん／まゆこにゃん／きよにゃん

ポーポキ・ピース・プロジェクトは、6月7日（日）に、都賀川公園で開催された灘チャレンジに今年も参加しました！

灘チャレンジとは、阪神淡路大震災の復興祭として始まり、学生と地域のつながりを大事にしながら20年間行われてきた、灘地域のお祭りで、ポーポキは、ブース出店、子どもたちと遊ぶゲームコーナー、ステージ発表、東日本大震災の写真展示・ポーポキ友情物語展を行いました。写真多めで灘チャレンジの様子を紹介します。(^^)

* ブース出店

ブースでは、ポーポキTシャツや絵本、ポストカードなどの販売を行いました。既に絵本を一冊持っていて、続きを買いに来てくれた方や、私たちが話すポーポキの活動に興味を持ってくれた方、さらには灘チャレンジの他のブースから遊びに来た方など、様々な方がブースに立ち寄ってくれました。いろいろな方とお話できてよかったです。

* ゲームコーナー

今年のゲームコーナーは、子どもたちとシャボン玉遊びや、カラフルなチョークを使って地面にお絵描きをして楽しみました。たくさん子どもたちが立ち寄って、自由に好きな絵を描いたり、シャボン玉を川に向かって飛ばしたりしました。さらにたいにゃんが作った『じばにゃん』の迷路が大人気で、みんな一生懸命ビー玉を転がしていました。私もやってみたのですが、けっこう難しかったです。...

《きよにゃんの感想》

落書きコーナーは、僕の担当でした。そこでは、いろんな子どもたちが遊びに来てくれて、とても嬉しかったです。印象に残っているのは、小さな女の子が、「これはお金がかかるの？」って聞いてきた事でした。周りの大人の人は、しっかりしているねって笑っていましたが、みんなが色んな絵を描いてくれて嬉しかったです。



* ミニ・ステージ発表

今年は、争っていた猫たちが地震を経験してみんな感じていることは同じなのだと実感し、認め合っていくというストーリーで、ダンスを交えながら劇をしました。アンナにゃんが台本と振り付けを考えてくれました。もりにゃんのナレーションとともに、皆役になりきってダンスやポガを披露しました。かおにゃんのアフリカダンスは完璧で、たくさん練習してきたことが嬉しかったです。お客さんにポーポキの活動のことを知ってもらえることもできたと思います。

《きよにゃんの感想》

アフリカダンスは、かおにゃん先生のお陰の方が大きいかもしれません（笑）本番は、途中で音楽が切れてしまい終わってしまったのが少し残念でした。ですが、もりにゃんのナレーション、他のにゃんの方々の名演技により大成功しました。少し緊張しましたが、来年は、もっと練習してやりたいと思いました。



* ミニ・ステージのパフォーマンスを **YouTube** でぜひみてください！

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg>

アンナにゃん、たいにゃん、もりにゃんのインタビューも！

<https://youtu.be/WYdWwmwogkE>

* 東日本大震災の写真展示・ポーポキ友情物語展

展示では、伊藤陽子さんによる東日本大震災の写真展と、フィジーやマーシャル諸島、仙台の人々が自由に絵や言葉を書いたポーポキ友情物語の布を展示しました。

《きよにゃんの感想》

伊藤さんは、東日本大震災の翌日から写真を撮られており、今は、東日本大震災の事を忘れてほしくないという思いや、語り部となって日本中をまわられているそうです。

今回は、伊藤さんとお話させて頂く時間を頂戴しました。伊藤さんから頂いたお言葉は、『自分の足で歩いて、自分の目で見ることが大切です』という内容のものでした。百聞は一見に如かずという事が大切だとその時、感じました。東日本大震災での地震の事や

津波の事、他にも様々な事を教えて頂きました。僕自身、考えさせられることが多々あった灘チャレンジでした。そして、とても有意義なものになった1日でもありました。



ポーポキ友情プロジェクトに、灘チャレンジに来たお客さんにも自由に書いてもらいました。



* 最後に

私たちにとっても初めての灘チャレンジは、ハプニングの連続でしたが（笑）とても楽しいイベントになりました。特にステージに関しては、練習段階からたくさん準備をして、ダンスの振りを考えたり動画を全員に送って練習してもらったりと、アンナにゃんを中心に頑張りました。直前までドキドキしていてうまくやれるか不安でしたが、本番では練習の成果を十分に出せたと思います。

普段は、地域の人、特に子どもたちと触れ合う機会が少ないので貴重な体験でした。反省会では、来年で取り組みたいアイデアがたくさん出ていました。来年も参加出来たらいいと思います。

兵庫

地域面3ページ

毎日新聞 兵庫版 灘ちゃんレジの翌日、伊藤さんがろにゃんの公開ゼミにきました！

221
315
JF
221
456
JF
388
012

姫路支局 姫路市三左衛門堀
〒670-0949

F. himeji

豊岡支局 豊岡市元町10の6
〒668-0026

F.
toyooka

淡路支局 洲本市本町3の1
☎0799(22)1360 F.

東日本大震災4年3カ月の歩み

写真で振り返る

伊藤さん、神戸大で講演

東日本大震災による津波と、その後の火災で大きな被害を受けた岩手県大槌町で震災翌日から写真を撮り続けている同町のアマチュア写真家、伊藤陽子さん(64)が、神戸大(神戸市灘区)で講演した。がれきをかき分ける消防隊員、更地になった商店街……。自らも兄

2人を亡くした伊藤さんは、震災から4年3カ月の歩みを写真で紹介しながら「大槌の今とこれからを知ってほしい」と訴えた。

2011年3月11日、隣接する宮古市にいた伊藤さんは車内で激しい揺れに襲われた。翌日未明、大槌町に戻ると自宅や経営した写真は数万枚。知り

号機など震災直後の様子のほか、現在の高く土が積まれたかさ上げ工事の現場も紹介。「これが大槌町の今。震災から5年目に入っても私たちのまちは工事現場でしかない」と復興が進まない現状を訴えた。

震災前から撮りためた写真は数万枚。知り

「大槌の今を知って」



写真集を手にとり震災後の様子を振り返る
伊藤陽子さん＝神戸市灘区の神戸大で

ていた喫茶店は跡形もなくなっていた。連絡の取れない兄二人を探しながら、車に積んでいたカメラを手にさまざまなように街を歩いた。シャッターを切った。「写真を撮るという日常に津波が入り込んできた感じだった」と振り返った。

合ったボランティアと「榎」も出版した。「写す人もいた。これからは縁がきつかけで国内真に映る自分の家を見つめて『あったんだよ』と語った。『続きたい』と語った。『宮嶋梓帆』と涙を流

【宮嶋梓帆】

小笠原沖地震で大阪が揺れた!?

1179 0055

ネットワーク
network 1・17

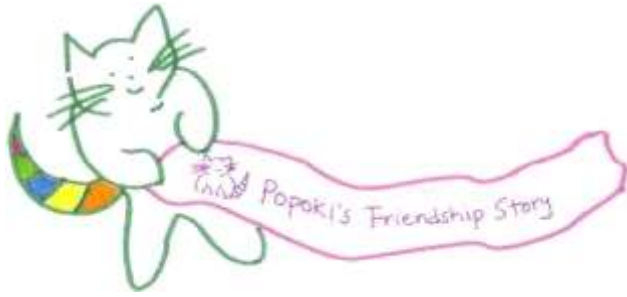
先月30日に起きた小笠原諸島沖を震源とするマグニチュード8.1の地震は、東京都心部で震度4を記録し、エレベーターが相次いで停止するなど混乱が発生しました。大阪の中心部では震度2や1で、大きな混乱はありませんでしたが、実は、高層ビルなどに大きな揺れをもたらす「長周期地震動」の

級は、東京と同じ値だったのです。

ゆっくりとした大きな揺れの長周期地震動は、震源から離れた地域でも伝わりやすく、高層ビルを大きく長い時間にわたって揺らす性質があります。大阪は、長周期地震動で揺れが増幅しやすい堆積平野で、高層ビルも多いため、南海トラフ巨大地震でも、長周期地震動での被害の拡大が懸念されています。

名古屋大学減災連携研究センター長の
 福和伸夫教授に、長周期地震動と、
 その防災対策について聞きます。

15日(月)19時半～20時



ポーポキ インタビュー*

伊藤陽子さんへのインタビュー

- あすたにゃん

- まゆこにゃん (translation)

2015年4月12日、神戸青少年会館での展示会場に入った時に、伊藤さんはすぐに私を見て名前を呼んでくれたことが信じられませんでした。よく私が人から言われる「あなたはネパール出身の方ですよ?」という言葉ではない、歓迎が嬉しかったです。

私は4月12日に 伊藤さんの展示を見に行き、片付けを手伝い、このポーポキ通信のためにインタビューをしました。さとにゃんと私は一緒にインタビューをして、ろにゃんが伊藤さんの返事を私に通訳をして助けてくれました。以下は、私と伊藤さんの会話と、私が彼女にした質問についての記事になります。



(Photo courtesy: Ito san)



(Photo courtesy: Ito san)

私が展示会の部屋に入ると、伊藤さんは私と一緒に歩きながら写真を見せてくれました。伊藤さんは、何枚か新しい写真を撮って私に是非見せたいと言いました。「これを見て。大槌町の最新の写真です。一緒に回って写真を見ましょう。ここに神社があるでしょう?そしてこれは、町の今の様子。もう橋は無くなってしまったの。」このような感じで説明してくれました。そして、私は他のお客さんがいないときや夕食のとき、彼女がスカイプで外国のインタビューが始まるのを待っているとき、機会があるごとに、彼女に質問をしました。

アスタ: 以前、私たちのゼミに元持さんをお迎えし、大槌町と彼女の組織についてのお話をしてもらいました。彼女のパワーポイントの中には、いくつかの町の将来計画について触れられていました。その内容は、**2015**年までに大槌町では多くのことが成し遂げられるだろうということが示されていました。しかし、私は伊藤さんの最新の大槌町の写真を見て、数年前の写真と比べてみても、あまり変化があったようには思えなかったのですがそれはなぜ

でしょうか？

伊藤さん: 被災地の復興には時間がかかります。大槌町のケースは、NTTのマンホールの茶色の部分が埋まるまで土を盛らなければいけないと言われています。これには、大量の土が運搬・追加され、押し固められることが必要になります。この作業が完了するには時間がかかるでしょうし、町の様子も今とは変わるでしょう。



アスタ: 今、2011年3月11日の写真を見ると、伊藤さんはどう感じますか？震災の写真を見ることに、感じるものがなにか変わりましたか？遠い昔の記憶のように感じるのか、それとも昨日の出来事のようなことに思えますか？

伊藤さん: 私の写真は人々を悲しませるのではないかと思います。写真は黒や茶色、灰色の基本的に暗い色ばかりなので、見るのは大変だろうと思います。津波や3.11後に起こった出来事はそれほど遠い記憶ではありません。

さとにゃん が、津波がくる前の大槌町の記憶についてはどうかと質問しました。伊藤さんは、それも遠い記憶ではないと仰いました。伊藤さんは、津波に襲われる前の町がどんな様子だったかを覚えているし、今町を歩き回っても、どこに何があったかを思い出す、と答えられました。

アスタ: お客さんが伊藤さんの写真を見て、写真の感想を伊藤さんに話してくることをどのように感じますか？写真を撮ることで、3.11の出来事を記録し、人々の記憶に残す役割を担っていると感じていますか？

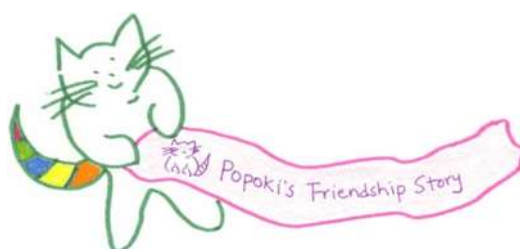
伊藤さん: お客さんが私の展示を見に来てくれることはとても嬉しいことです。時間をとって来てくれているので、私もさらなる理解を深めてもらえるように説明をして、お話をしたいと思っています。このような反響があることを予期していませんでした。私はその場にいたので、どのような様子でどのように感じたのかを知っていますし、何があったのかを知りたいと関心をもっている皆さんと共有したいと思っています。たくさんの人が、私がなぜこれらの写真を撮ったのか？または写真を撮っているとき何を考えていたのか？などを尋ねられます。私が言えることは、私は若い頃から写真をとることが好きで、人々に震災前後の大槌町のことを知ってもらいたかったから写真を撮り続けています。

アスタ: すべての写真の中で、伊藤さんに最も影響を与えた写真はどれですか？



伊藤さん: 津波の翌朝、男性が大槌町を見つめている写真です。おそらく、大槌町の多くの人がそうであったように、彼は自分の町に起こったことが信じられなかったのだと思います。

伊藤さんは、溶けた信号の写真も津波後に起こった火災のダメージの大きさを示すものとして重要な写真だと感じることも仰っていました（次ページ）。





残りの時間は、私たちは伊藤さんから様々なトピックについてのお話を聞きました。ボランティア活動や、震災への備え、常に持っているべきもの、そして自分の持ち物でどう機転をきかせて利用するか、などなど。

すべてがすべて、勉強になる出来事ばかりの夜でした。:)

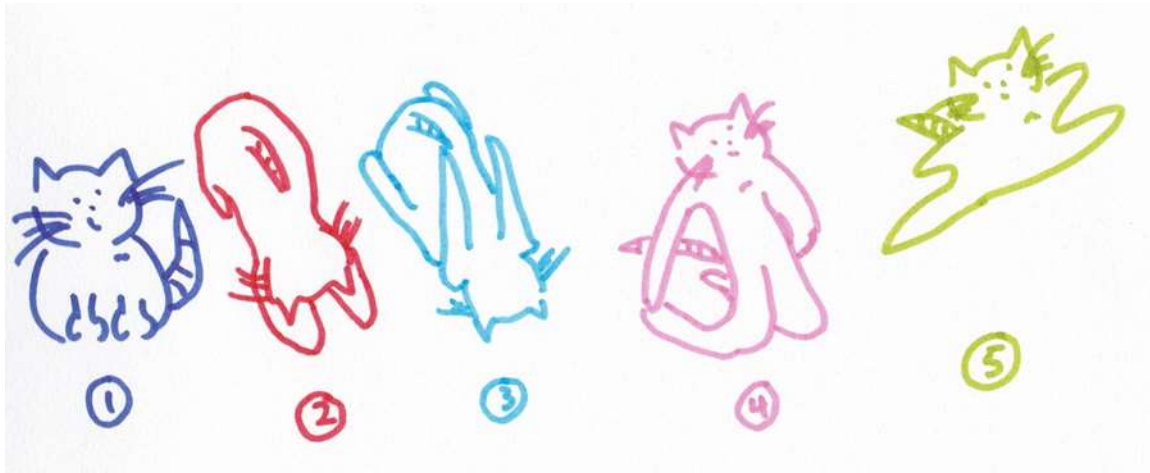
- 伊藤陽子さんは、写真集を出版しています。
- 「がんばっぺし 大槌 東日本大震災大槌町の記録 2011. 3. 11～2012. 2. 29」。入手したい方は、ポーポキ・ピース・プロジェクト (ronniandpopoki@gmail.com) にお名前、電話番号をお送りください。伊藤さんに伝えて、折り返し連絡します。
- 写真集はカラー、144ページ、定価2857円（税別）＋送料です。



ポーポキちゃんの簡単ボガ教室

Lesson 85

今月のテーマは、腰と肩のストレッチ！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
 2. 次は、正座をしながら手を前へのばしましょう！
 3. では、そのまま、腕を後ろにもって行って、上げましょう。
 4. 最後に膝立ちをしながら、腕をうしろへストレッチ！かかとをタッチできる？天井は見える？
 5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
- お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてボガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：7月16日 19:00～ 神戸YMCA (新神戸OPA2階) 201

7.11 子どもの里プログラム 大阪市西成区 10:00～12:00

7.28 シアトル・エキスチェンジ・ポーポキ・ピース・ワークショップ。神戸学園都市YMCA, 10～12:00

7.30 ポーポキ at ワイズメンズアジア地域大会 ユース・コンボケーション 京都

8.6 広島ディー・シャドープロジェクト&スカイプ。8:00に生田川公園(新神戸駅南)の吾妻で集合
8:15にダイ・イン、8:30からYMCAでスカイプ開始の予定。

8.10 ポーポキと一緒に平和を考えるWS 国際理解教育・開発教育研修会 JICA関西

ポーポキの友だちからのお知らせ

・ 2015.7.19 12:30-14:30 「ヒロシマをめぐる＜コンフリクト＞」ワークショップ

会場：アステールプラザ 参加費：無料（平和学会員以外の方は、学会参加費が必要）

主催：日本平和学会 平和教育プロジェクト委員会 ・ 後援：平和教育地球キャンペーン中四国支部、NPO法人ART Peace（後援してくださる団体を、随時、募集しています！ご連絡ください！）

・新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。すてきな写真集です。注文などは前田圭子さんへ。 m.dodo@h2.dion.ne.jp

Popoki in the News

- ・ ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66 2012 年 5 月 12 日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60 メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing”(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第 2 号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて~人間と、ねこと、そして自分と~」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カテイング・エッジ」第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになつてくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」2008.10.8. 10 面



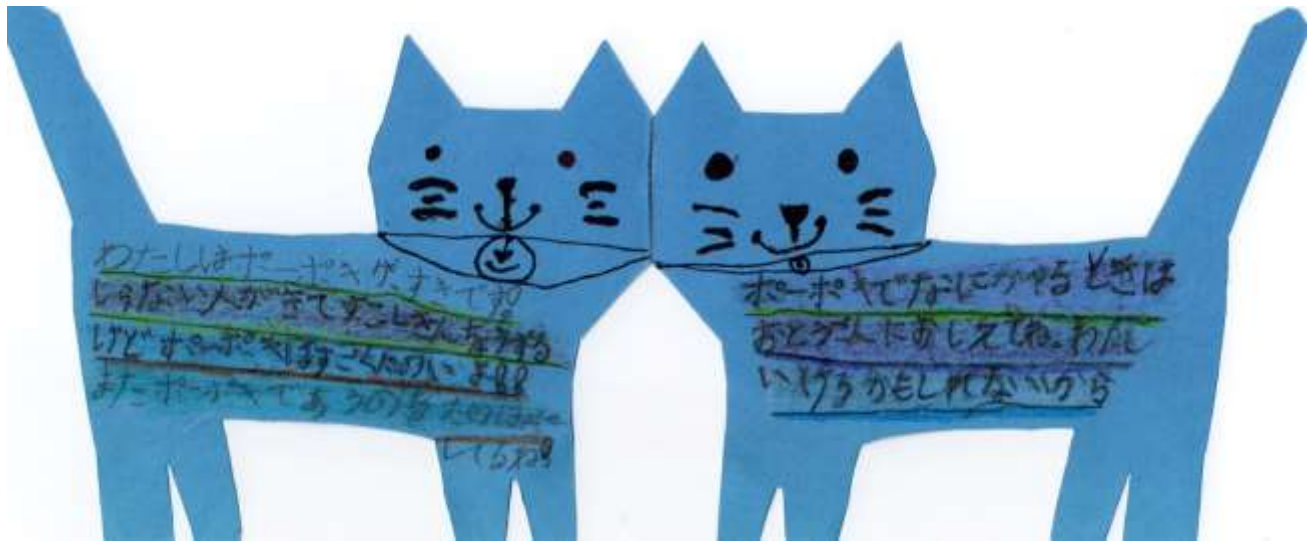


私にとってのポーポキ

かおにゃん

今回の「私にとってのポーポキ」は、ポーポキの友だちのかおにゃんがろにゃんに書いた手紙を紹介します。

わたしはポーポキが大好きです！知らない人がきてすこしきんちょうするけど、ポーポキはすごくたのしい！！またポーポキであうのをたのしみにしてるね！ポーポキでなにかあるときはおとうさんにおしえてね。わたしいけるかもしれないから。



かおにゃんより ろにゃんへ

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011 年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を 2012 年 1 月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なさいたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!